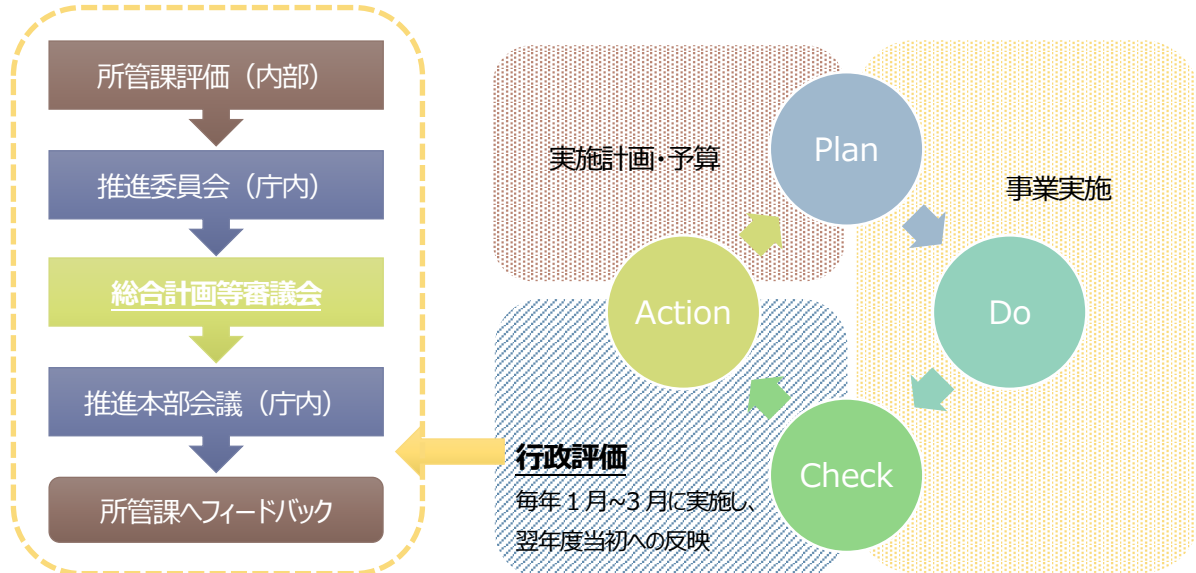


1 趣 旨

- 令和3年4月にスタートした第6次基本構想・第1期基本計画、第2期キラリと輝く創生総合戦略（以下「基本計画等」という。）を着実に推進するため、毎年度行政評価を実施。

【PDCA サイクル】



- ・基本計画等の策定段階から、ロジックモデル（目指す状態とそのための手段を整理）を作成し、成果指標（数値目標・KPI・KSF）を設定することで、その進捗状況を適時確認できるよう設計。

2 評価方法

- これまでの取組を踏まえ、①「これまで（R3年度）の成果及び効果」、②「課題及び次年度の方針」の2点を明らかにすることを目的に実施。

【評価対象：基本施策 131本（基本計画 119本、総合戦略 12本）】

- 評価フロー：所管課による自己評価・検証→推進委員会及び総合計画等審議会にて審議
- 基本施策の達成のため実施する取組の進捗状況を3段階評価し、その合計点により基本施策を5段階で評価。

【取組の評価区分】 ※具体的な取組の進捗状況により、取組ごとに3段階（A～C）評価

- A： 予定を上回り、順調に進捗している。
- B： 予定のとおりに進捗している。
- C： 進捗に遅れが出ている。

【基本施策の評価区分】 ※取組評価の合計点により、基本施策を5段階（5～1）評価

- 5： 大きく進展している。
- 4： 順調である。
- 3： 概ね順調である。
- 2： 多少遅れが出ている。
- 1： 大幅に遅れが出ている。

- 評価「2」及び「1」の22施策のうち、委員投票により審議対象施策（5施策）として決定。

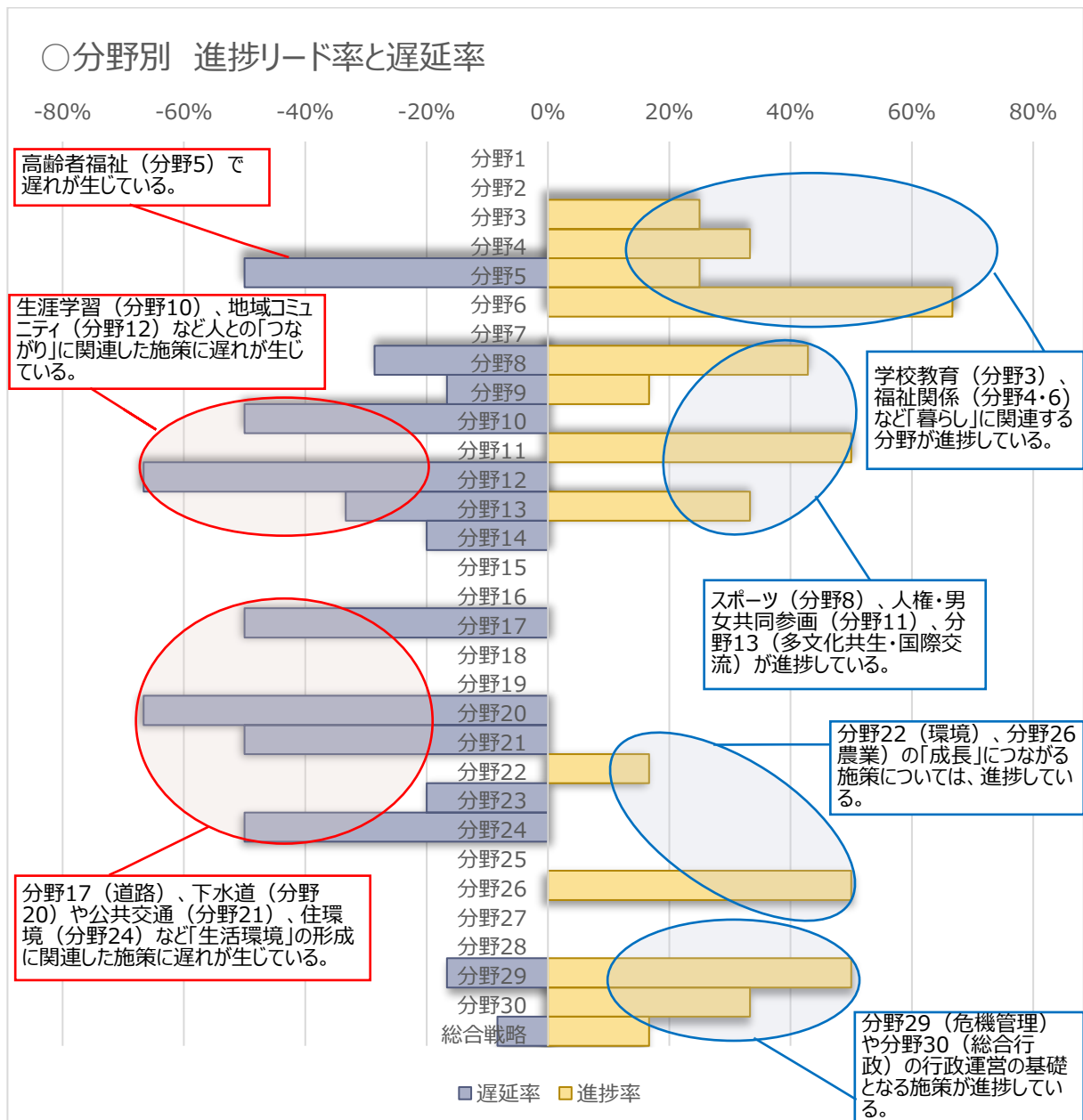
3 評価結果

○基本施策 評価結果

分野	タイトル	評価結果					総計	遅延率 ※1	進捗リード率 ※2
		1	2	3	4	5			
分野 1	子ども・子育て支援			4			4	0%	0%
分野 2	子ども・若者支援			2			2	0%	0%
分野 3	学校教育			3	1		4	0%	25%
分野 4	地域福祉			2	1		3	0%	33%
分野 5	高齢者福祉	1	3	2	1	1	8	-50%	25%
分野 6	障がい福祉			2	3	1	6	0%	67%
分野 7	健康づくり			6			6	0%	0%
分野 8	スポーツ		2	2	3		7	-29%	43%
分野 9	文化芸術・文化財		1	4	1		6	-17%	17%
分野 10	生涯学習	1	1	2			4	-50%	0%
分野 11	人権・男女共同参画			1		1	2	0%	50%
分野 12	地域コミュニティ		2	1			3	-67%	0%
分野 13	多文化共生・国際交流		1	1	1		3	-33%	33%
分野 14	防犯・交通安全		1	4			5	-20%	0%
分野 15	市民相談・消費生活			2			2	0%	0%
分野 16	土地利用			3			3	0%	0%
分野 17	道路		1	1			2	-50%	0%
分野 18	治水			2			2	0%	0%
分野 19	水道			4			4	0%	0%
分野 20	下水道		2	1			3	-67%	0%
分野 21	公共交通		1	1			2	-50%	0%
分野 22	環境			5	1		6	0%	17%
分野 23	公園・緑		1	4			5	-20%	0%
分野 24	住環境	1	1	2			4	-50%	0%
分野 25	商工			6			6	0%	0%
分野 26	農業			2	1	1	4	0%	50%
分野 27	就労			2			2	0%	0%
分野 28	シティプロモーション			2			2	0%	0%
分野 29	危機管理	1		2	3		6	-17%	50%
分野 30	総合行政			2	1		3	0%	33%
総合戦略		1		9	2		12	-8%	17%
総計		5	17	86	19	4	131	-17%	18%

※1 遅延率 : 分野ごとの基本施策中、進捗の遅れがある施策の割合 (評価結果 1 又は 2)

※2 進捗リード率 : 分野ごとの基本施策中、進捗が予定より進んでいる割合 (評価結果が 4 又は 5)



【取組評価結果の概要】

※取組評価とは、基本施策の達成のため実施する取組（基本施策に紐づく取組）を3段階評価（A～C）したものを。

<取組評価結果の内容>

- 評価が「A」となった取組の多くは、KSFの数値が想定以上に向上したものととなった。（支援件数の増加、啓発回数の増加、福祉施設などの建設が決定したものなど）
- 評価が「C」となった取組の多くは、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施ができなかったもの、現時点で事業着手できていないものとなっている。
- 一方、コロナ禍においても、オンラインの活用による事業実施など、新たな生活様式への対応により、当初想定していた事業成果を達成したとして評価を「B」としている取組もあった。

【基本施策評価の概要】

※基本施策評価とは、実施する取組（基本施策に紐づく取組）の評価を基に、基本施策の進捗を5段階評価（5～1）するもの。

<基本施策評価結果の内容>

○全体としては、取組評価の78.2%が評価「B」となったため、基本施策の評価結果も評価「3」（概ね順調である）に集中している。

○「暮らし」関連

- ・学校教育（分野3）、地域福祉（分野4）、障がい福祉（分野6）は、教育相談体制の充実や社会福祉協議会の体制強化、障がい福祉サービスの充実などから評価が高くなっている。
- ・高齢者福祉（分野5）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会（地域）参加機会の減少から評価が低くなっている。

○「つながり」関連

- ・生涯学習（分野10）、地域コミュニティ（分野12）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止となったことから評価が低くなっている。
- ・スポーツ（分野8）、人権・男女共同参画（分野11）、分野13（多文化共生・国際交流）は、トップレベルの試合（レスリングやハンドボール等）の招致、人権啓発の促進やセルビア共和国との国際交流活動により評価が高くなっている。

○「生活環境」関連

- ・道路（分野17）、分野20（下水道）、分野21（公共交通）、分野24（住環境）は、幹線道路整備、地域公共交通の検討や空き地対策などに遅れが生じている。また、内水対策事業について、継続検討となった事業があり評価が低くなっている。
- ・分野29（危機管理）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「共助の充実」に取組めなかったものの、防災リーダーの養成や家具転倒防止の推進による「自助の充実」、備蓄品の充実や民間との連携協定など「公助の充実」が進んだことにより評価が高くなっている。

○「成長」関連

- ・環境（分野22）、農業（分野26）については、公共施設の壁面緑化など温室効果ガス抑制への取組が進んだこと、農地の集積、市民農園の利用者が増えたことなどにより評価が高くなっている。

○「総合行政」

- ・総合行政（分野30）は、新たに(株)NTT 東日本と連携し GIGA スクール構想の推進や DX 推進計画を策定したことなど、民間活力の活用が進んだことにより評価が高くなっている。